

# 平成17年度事業計画書

自 平成17年4月 1日  
至 平成18年3月31日

コンピューターの急速な普及とともに、現在、利用頻度の高い国民には、ある程度の操作能力が定着したかに思われます。したがって、初歩的な技術の習得希望者は減少傾向にあります。初心者向けの各種コンピューター講座の受講生も減少傾向にあります。当協会の各種検定試験の受験者数にも一昨年に続き昨年度もかなりの減少が見られました。

しかしながら、操作能力の定着といっても、基本的な文書の入力程度で高い操作能力を身につけた方は国民全体から見れば決して多くはありません。さらに高齢者やコンピューターに触れる頻度の低い方々には、まだまだ難しい機械とされているようです。デジタルデバイドによる経済的格差、機会の格差はさらに進行していると思われます。

したがって、当協会は現在の文書処理能力検定試験およびパソコン技能検定試験を基本検定と位置付け、さらに国民の情報リテラシー能力の向上をめざしていきます。

一方、受験者数の減少につきましては当協会の知名度不足もあると思われます。そこで、今年度は既存の検定事業につきまして、当協会が実施しております各種資格試験の認知度の向上に全力をあげてまいります。

具体的には、広報活動を強化していきます。さらに各種資格試験の公開会場を全国主要都市に新設し、受験者数の増加を図り検定試験の実施団体として、信頼される地位の確立を目指します。

また、時流に沿った検定試験の開発を推進してまいります。今年度の新規検定としまして、情報セキュリティ検定、日本語ディクテーション検定、英語ディクテーション検定、英語文書処理能力検定、児童英語検定を実施してまいります。

まず、4月より施行されます「個人情報保護法」の施行に伴い、個人情報の整備の重要性が打ち出されています。この法のもとで、個人情報を扱う企業が情報管理に責任をもつことになり、情報管理に対して責任が問われます。

当協会としては、これらに鑑み、今年度より情報セキュリティ検定試験を実施し、この情報セキュリティ知識が、社会の常識としての地位が確立されていくよう積極的に推進してまいります。

同時に、講習会・研修会の事業として、全国主要都市で情報セキュリティ講習会を開催いたします。この講習会を通して、セキュリティの意識を高め、これらの知識を広める努力をしていく所存です。

次に、現在企業や団体の会議でパーソナルコンピューターを用いて、話の要点をメモしたり、議事録を作ったりするケースが増えています。この「聞いて入力する技術」、すなわちディクテーション技術が注目されています。この入力技術に関する検定試験、日本語ディクテーション検定、英語ディクテーション検定を実施して、実社会に必要な能力を持った人材の育成につとめていきます。

英語関係の検定試験に関しましては、英文をパーソナルコンピューターを用いて入力する能力を認定する試験は、国際化のなかで、その必要性については疑う余地がありません。現在調査を進めていますが、さらに研究・実験を続け、今年度秋より実施する予定です。

当財団では、さらに情報学習の高度化のための調査研究を行い、情報に係る生涯学習を推進し、もって日本における情報化の一層の促進を図ってまいります。

この趣旨に基づき、情報学習の普及・振興及び情報化の促進への貢献を図るため、次に示す検定試験や講習会等の実施を行ってまいります。微力ながら日本のIT国家推進の一助となるべく協力してまいります。

当協会は、以上の趣旨に基づき、次のとおり、平成17年度事業計画を策定いたします。

1 検定試験の実施

294,296千円

文書処理能力検定試験 ・ 種

実務に即した文書作成能力を中心に、表計算、データベース機能を効果的に使い分ける能力を測定します。従来のスピード重視の観点ではなく、表計算・データベースなども取り入れパソコンの総合的な能力を認定します。

試験会場：全国の認定会場

実施回数：年6回

受験予定者数：約47,300人

内 訳

会場手数料	46,343千円
印刷費 (受験票、受験者一覧表、検定案内、試験問題、解答、合格証書)	7,874千円
問題依頼	600千円
荷造運賃	5,427千円
	<hr/>
	60,244千円

パソコン技能検定 種試験(CBT 対応)

単なるワープロ、表計算検定ではなく、これらとインターネットを組み合わせたパソコン総合能力検定として、21世紀に必須の能力を認定します。

試験会場：全国の認定会場

実施回数：年6回

受験予定者数：約45,500人

内 訳

会場手数料	61,236千円
印刷費 (受験票、受験者一覧表、検定案内、合格証書)	300千円
問題依頼	560千円
荷造運賃	60千円
	<hr/>
	62,156千円

パソコン基礎検定試験(CBT 対応)

小中学生を対象として、正しいタイピング技術からワープロ、表計算、インターネットに至るまで、将来の日本社会に貢献するパソコン技術の基礎を習得していることを認定します。

試験会場：札幌、仙台、東京、大阪、名古屋、広島、福岡

実施回数：年3回

受験予定者数：約1,600人

内 訳

会場手数料	544千円
印刷費	150千円

(受験票、受験者一覧表、検定案内、合格証書)

問題依頼	6,400千円
荷造運賃	30千円
	<hr/>
	7,124千円

#### パソコン講師資格認定文書処理試験(CBT対応)

ワープロ、表計算、データベース、インターネット関連の各ソフトウェアを統合して扱うことができる高度な操作技術・知識とともに、教育・指導に関連する知識を持つ、「パソコン技能の優れた指導者」であることを認定します。

試験会場：札幌、仙台、東京、大阪、名古屋、広島、福岡

実施回数：年2回

受験予定者数：約640人

#### 内 訳

会場手数料	806千円
印刷費	100千円
(受験票、受験者一覧表、検定案内、合格証書)	
問題依頼	800千円
荷造運賃	20千円
	<hr/>
	1,726千円

#### パソコンアドミニストレーター検定(CBT対応)

コンピュータのハードウェア、ソフトウェアに関する知識、ネットワーク構築の技術と知識を持つことのみならず、これらを使用して自己の職場における作業環境と情報伝達経路を効率化、円滑化することによって、業務上の諸問題を解決(ビジネスソリューション)し、職場のリーダーとなって業務を効率化する人材としての能力を有することを認定します。

試験会場：札幌、仙台、東京、大阪、名古屋、広島、福岡

実施回数：年2回

受験予定者数：約320人

#### 内 訳

会場手数料	610千円
印刷費	100千円
(受験票、受験者一覧表、検定案内、合格証書)	
問題依頼	1,500千円
荷造運賃	20千円
	<hr/>
	2,230千円

#### 福祉情報技術コーディネーター認定試験

障害者や高齢者のために、コンピュータを含む支援技術と、補助機材をその障害に応じ て結びつけ自立をサポートできるように、環境提案と、その操作技術を教える為の指導者としての能力を認定します。

試験会場：札幌、仙台、東京、大阪、名古屋、広島、福岡

実施回数：年3回

受験予定者数：約1,200人

**内 訳**

会場手数料	1,147千円
印刷費 (受験票、受験者一覧表、検定案内、マークシート、合格証書)	799千円
問題依頼	470千円
荷造運賃	444千円
	<hr/>
	2,860千円

**パソコン技能検定インターネット試験**

インターネットに接続するための操作知識、インターネットで情報を検索するための知識、ホームページから情報を発信するための知識、情報セキュリティ、インターネットの管理の能力を中心に、インターネットに関する総合的な技術と知識を有することを認定します。

試験会場：札幌、仙台、東京、大阪、名古屋、広島、福岡

実施回数：年4回

受験予定者数：約1,200人

**内 訳**

会場手数料	1,200千円
印刷費 (受験票、受験者一覧表、検定案内、マークシート、合格証書)	1,500千円
問題依頼	3,001千円
荷造運賃	702千円
	<hr/>
	6,403千円

**パソコン技能検定CAD試験**

CAD(コンピュータを用いた製図)ソフトウェアを利用する能力・知識、パソコン、OS、ネットワークに関する知識を認定します。

試験会場：札幌、仙台、東京、大阪、名古屋、広島、福岡

実施回数：年2回

受験予定者数：約770人

**内 訳**

会場手数料	1,651千円
印刷費 (受験票、受験者一覧表、検定案内、試験問題、解答、合格証書)	445千円
問題依頼	1,910千円
荷造運賃	179千円
	<hr/>
	4,185千円

**WEBクリエイター試験(CBT 対応)**

営業、広告、情報公開の手段としてホームページが必須になっています。そのホームページ作成にあたって、企画、ページ構成、ページデザイン、HTMLファイルへのコーディングなど一連の作業をコーディネートできる能力が問われる中、この試験ではこれらの基礎知識と技術を習得しているかどうかを認定します。

試験会場：札幌、仙台、東京、大阪、名古屋、広島、福岡

実施回数 : 年3回  
受験予定者数 : 約380人

**内 訳**

会場手数料	857千円
印刷費 (受験票、受験者一覧表、検定案内、合格証書)	150千円
問題依頼	2,817千円
荷造運賃	30千円
	<hr/>
	3,854千円

**情報セキュリティー検定試験**

個人情報を含む膨大なデータ、機密情報は、不正アクセスなどによるデータの流出・漏洩・紛失をはじめコンピュータウイルスなど多様なリスクにさらされています。また個人情報保護法の施行により情報を保有し管理する側の責任を一層明確にしています。今日の高度情報社会において、安心してコンピュータを利用、活用できるセキュリティ管理能力は、企業をはじめとして、すべての団体に必ず求められる能力のひとつと言えます。この検定は、情報セキュリティの管理に関する総合的な知識を有することを認定するものです。

試験会場 : 東京、大阪、名古屋  
実施回数 : 年4回  
受験予定者数 : 約22,800人

**内 訳**

会場手数料	46,541千円
会場料	56,875千円
印刷費 (受験票、受験者一覧表、検定案内、マークシート、試験問題、合格証書)	2,000千円
問題依頼	4,800千円
荷造運賃	120千円
	<hr/>
	110,336千円

**英語文書処理能力検定試験 (CBT 対応)**

従来、日本語文書処理につきまして実施してまいりました「入力スピード、文書作成、データ加工を英文に置き換えたタイプの試験形式になる予定です。国際化が進むなかで大変必要性の高い試験です。要望も多くあります。内容につきましては、現在検討中です。

試験会場 : 東京、大阪、名古屋  
実施回数 : 年2回  
受験予定者数 : 約1,100人

**内 訳**

会場手数料	1,551千円
会場料	2,000千円
印刷費 (受験票、受験者一覧表、検定案内、合格証書)	700千円
問題依頼	2,400千円
荷造運賃	60千円
	<hr/>

6,711千円

日本語ディクテーション試験(CBT 対応)

近年、会議やディスカッションで必要とされる技術です。また速記者として活躍できます。文章を読みあげ、それを速記入力する試験。2名または3名の会話を速記入力する試験、それらの文書の漢字、句読点、段落等を正しく校正する試験で構成されます。

試験会場 : 東京、大阪、名古屋  
実施回数 : 年2回  
受験予定者数 : 約900人

内 訳

会場手数料	1,239千円
会場料	2,000千円
印刷費	100千円
問題依頼	2,400千円
荷造運賃	60千円
	<hr/>
	5,799千円

英語ディクテーション試験(CBT 対応)

会議や、ディスカッションで必要とされる技術です。英文を読みあげ、それを速記入力する試験。2名または3名の英語の会話を速記入力する試験、それらの文書を正しく校正する試験で構成されます。

試験会場 : 東京、大阪、名古屋  
実施回数 : 年2回  
受験予定者数 : 約600人

内 訳

会場手数料	769千円
会場料	2,000千円
印刷費	100千円
問題依頼	2,400千円
荷造運賃	60千円
	<hr/>
	5,329千円

基礎英語検定試験(日本基礎英語検定協会にて実施)

児童および小学生、中学生向けの検定試験。幼児で10級、小学校1年生で9級小学校6年生で4級、中学校1年生で3級程度を目安としています。従来日本基礎英語検定協会にて実施してきましたが、今年度より当協会にて実施します。英語による会話をテレビで見て答えます。目と耳により判断しますので、ペーパー試験や、テープによる試験より実際の生活に近い会話能力が判定できます。

試験会場 : 東京、大阪、名古屋  
実施回数 : 年4回  
受験予定者数 : 約1,700人

内 訳

会場手数料	519千円
-------	-------

印刷費	200千円
問題依頼・スタジオ使用料・その他 (受験票、受験者一覧表、検定案内、マークシート、試験問題、合格証書)	8,500千円
サーバー使用料	6,000千円
荷造運賃	120千円
	<hr/>
	15,339千円

2 研修会、講習会の開催事業 14,000千円

セキュリティ講習会:内訳

講習会場 : 東京6回、大阪3回、名古屋3回、横浜2回、  
北海道、仙台、千葉、大宮、広島、福岡 各1回  
実施回数 : 年20回

会場費	6,000千円
講師人件費	6,000千円
その他雑費	2,000千円
	<hr/>
	14,000千円

3 情報処理関連の調査、研究、製作 30,000千円

4 情報処理関連の図書等の製作、発行 10,000千円  
製作費 (資格 de POWER 等) 10,000千円

5 情報学習指導者育成助成金事業 181,800千円  
情報学習指導者の育成及び民間パソコン事業者の育成・振興を目的とした「情報学習指導者育成助成金」を実施します。

情報学習指導者育成助成金:内訳

助成金支給	180,000千円
業務委託費	1,800千円
	<hr/>
	181,800千円